

令和4年度

長岡市社会資本総合整備計画等

事業評価監視委員会

計 画 名：社会資本総合整備計画

「長岡市通学路の安全対策（第2期）
（防災・安全）」

分 野：防災・安全

交 付 金 名：社会資本整備総合交付金

評 価 種 別：事後評価

令和5年2月



目 次

1. 社会資本総合整備計画の概要について

(1) 長岡市通学路交通安全プログラム・・・P.3

(2) 社会資本総合整備計画の概要及び

実施状況・・・P.9

1) 事業概要・・・P.10

2) 事業の実施状況・・・P.15

3) 事業の実施事例・・・P.18

【 質 疑 】

2. 評価結果の内容について(審議事項)

(1) 成果の達成度・・・P.32

(2) 事業の効果発現要因の整理・・・P.38

【意見聴取】

3. 今後の通学路の安全対策について

(審議事項)

(1) 今後の社会資本整備の方策・・・P.42

【意見聴取】

4. 今後のスケジュール

(1) 委員会終了後の手続き・・・P.46

1. 社会資本総合整備計画の 概要について

(1) 長岡市通学路交通安全プログラム

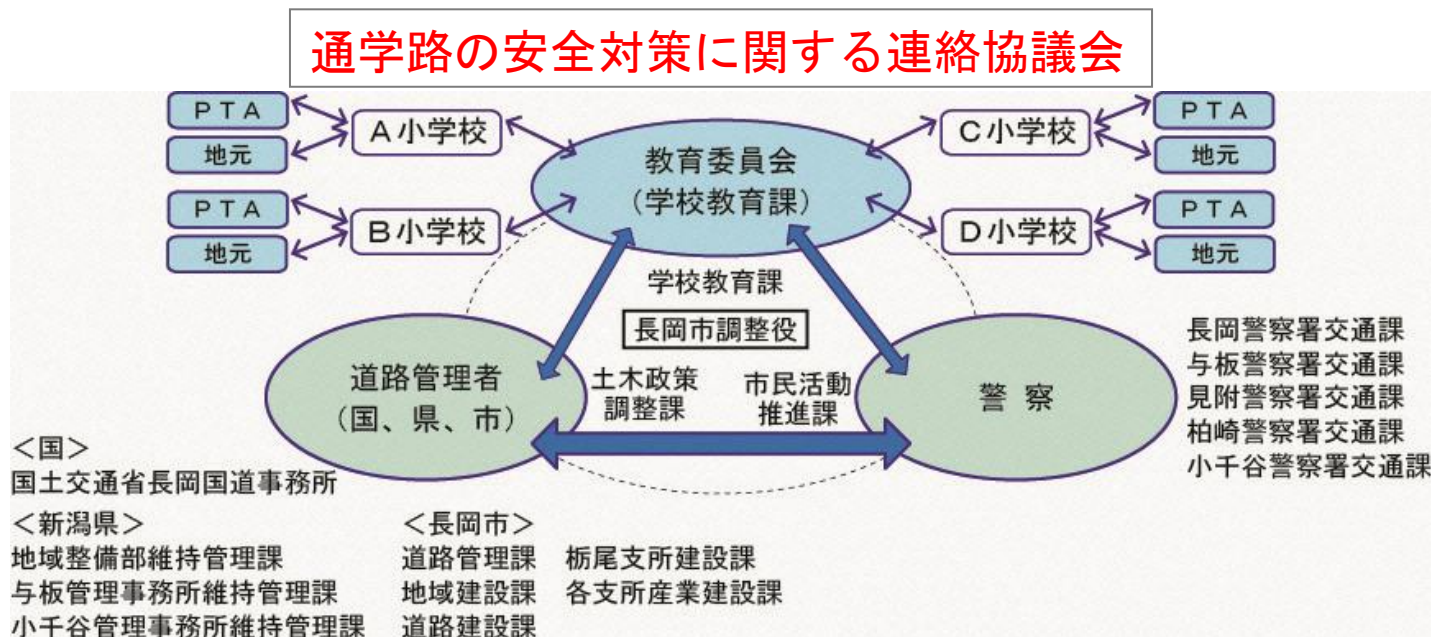
(1) 長岡市通学路交通安全プログラム

■ 背景

- 平成24年、全国で登下校中の児童が死傷する事故が相次いで発生
- 各小学校の通学路における危険箇所について、教育委員会、警察、道路管理者などが連携して緊急合同点検を行い必要な対策を実施
- これらの取組により一定の成果が得られたことから、関係機関で連絡協議会を組織し、平成25年度「長岡市通学路交通安全プログラム」を策定

■ 目的

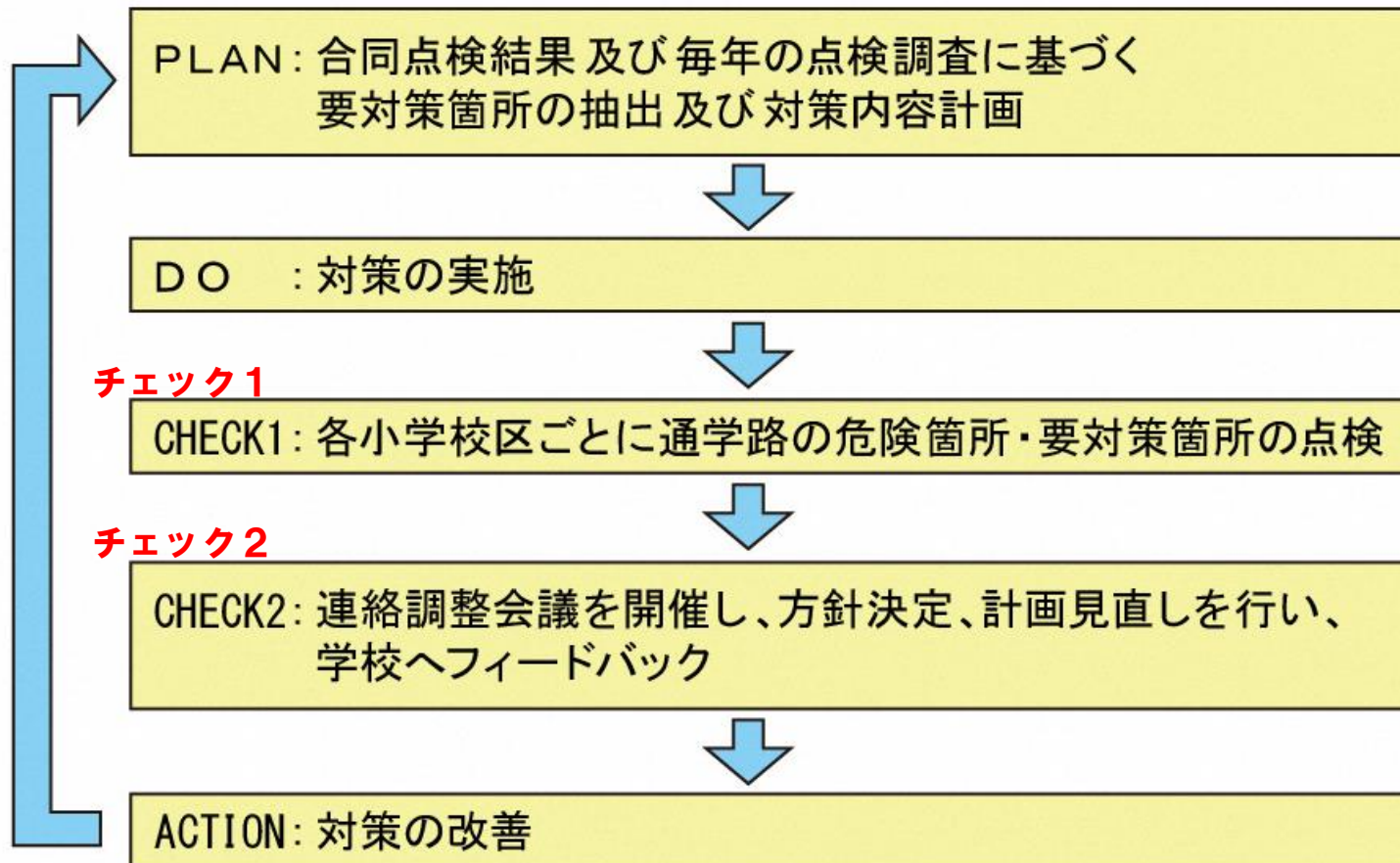
計画的かつ継続的に通学路の交通安全対策を実施し、児童が安心して通学できる歩行空間の確保を実現する。



(1) 長岡市通学路交通安全プログラム

■ 取組方針

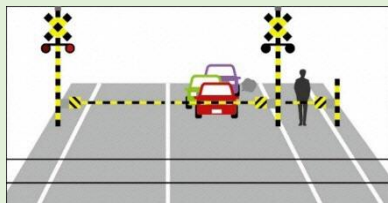
○ 継続的な通学路の安全確保を推進するため、PDCAサイクルにより、繰り返し見直ししながら安全対策を実施し、さらなる安全度の向上を図ります。



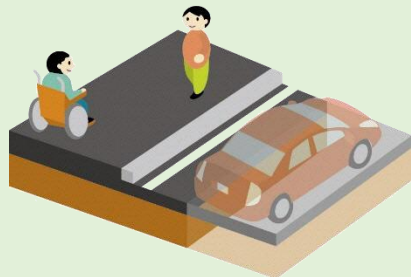
(1) 長岡市通学路交通安全プログラム

・ 具体的な取り組み内容の一例 (安全対策の内容)

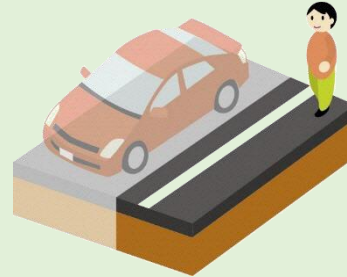
●踏切拡幅



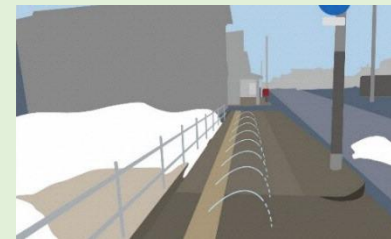
●歩道整備



●路肩整備



●歩道消雪パイプ整備



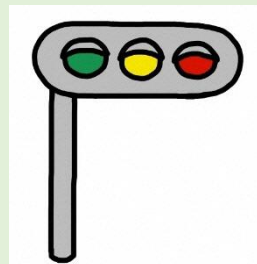
●グリーンベルト整備



●通学路防犯灯設置補助



●信号機の設置



●横断歩道の設置



●規制の追加 (「止まれ」など)



●児童への安全指導



●学校、PTA、地元町内の合意形成



(1) 長岡市通学路交通安全プログラム

■本プログラムと社会資本総合整備計画の関係

長岡市通学路交通安全プログラム

教育委員会(学校教育課)

警察

道路管理者(国・県・市)

国(国土交通省)

県(長岡地域振興局)

長岡市

長岡市社会資本総合整備計画 「長岡市通学路の
交通安全対策 防災・安全」

市が事業主体となっているハード整備事業を対象

- ・ 土木政策調整課、道路管理課、道路建設課
地域建設課、都市施設整備課

(1) 長岡市通学路交通安全プログラム

プログラムの要対策箇所

要対策箇所					
全体数量 1,013箇所					
教育委員会	警察	道路管理者 (536)			
		国	新潟県	長岡市 (385箇所)	
		6	145	指標対象	それ以外
117	268				

- ※指標設定時に用いた要対策箇所数 = H24年度～H28年度要対策箇所数
- ※事業主体が複数に跨る場合、それぞれを1箇所とカウント

令和3年度末時点
では146箇所

1. 社会資本総合整備計画の 概要について

(2) 社会資本総合整備計画の概要及び実施状況

1) 事業概要 —整備計画の概要について—

計画の名称

長岡市通学路の安全対策（第2期）（防災・安全）

計画期間

平成30年度～令和04年度（5年間）

計画目標

通学路の要対策箇所に対し、安全対策を行うことにより、安全・安心な通学路を確保する。

1) 事業概要 —成果目標について—

成果目標

	指 標	算出方法	当初現況値 (H30年度当初)	目標値 (R4年度末)
1	長岡市通学路安全プログラムにおける歩道整備等歩行空間確保に関する <u>要対策箇所について、対策率を上昇させる</u>	(長岡市通学路安全プログラムにおける 歩道整備等歩行空間確保対策実施箇所数 /長岡市通学路安全プログラムにおける 歩道整備等歩行空間確保に関する要対策箇所数) ×100	63%	78%
2	長岡市通学路安全プログラムにおける踏切整備に関する <u>要対策箇所について、対策率を上昇させる</u>	(長岡市通学路安全プログラムにおける 踏切整備対策箇所数 /長岡市通学路安全プログラムにおける 踏切整備に関する要対策箇所数) ×100	75%	100%
3	長岡市通学路安全プログラムにおける歩道消雪パイプ整備に関する <u>要対策箇所について、対策率を上昇させる</u>	(長岡市通学路安全プログラムにおける 歩道消雪パイプ整備の実施箇所数 /長岡市通学路安全プログラムにおける 歩道消雪パイプ整備に関する要対策箇所数) ×100	81%	100%

1) 事業概要 —成果目標について—

指標 1

長岡市通学路交通安全プログラムにおける歩道整備等歩行空間確保に関する要対策箇所について、対策率を上昇させる。

$$\frac{\text{歩道整備等歩行空間確保対策実施箇所数}}{\text{歩道整備等歩行空間確保に関する要対策箇所数}} \times 100$$

○要対策箇所の内容は、歩道整備、路肩整備、グリーンベルト整備

目標値

○目標値については、平成30年度当初に設定された現況値（%）に対して、令和4年度末時点の要対策箇所実施率（見込値）を指標としている。なお、値は**累積値**であるとともに、**要対策箇所数も増加していることを考慮した値**となっている。

当初現況値

最終目標値

63%

⇒

78%

	H30年度当初 (現況値)	R4年度末 (目標値)
対策実施箇所数 (R4年度は目標値) / 要対策箇所数	45/72	83/107
実施率 (R4年度は見込)	63%	78%

1) 事業概要 —成果目標について—

指標 2

長岡市通学路交通安全プログラムにおける踏切整備に関する要対策箇所について、対策率を上昇させる。

○要対策箇所の内容は、踏切整備

$$\frac{\text{踏切整備対策実施箇所数}}{\text{踏切整備に関する要対策箇所数}} \times 100$$

目標値

○目標値については、平成30年度当初に設定された現況値（%）に対して、令和4年度末時点の要対策箇所実施率（見込値）を指標としている。なお、値は**累積値**であるとともに、**要対策箇所数も増加していることを考慮した値**となっている。

当初現況値 ⇒ **最終目標値**

75% ⇒ **100%**

	H30年度当初 (現況値)	R4年度末 (目標値)
対策実施箇所数 (R4年度は目標値) / 要対策箇所数	3/4	6/6
実施率 (R4年度は見込)	75%	100%

1) 事業概要 —成果目標について—

指標 3

長岡市通学路交通安全プログラムにおける歩道消雪パイプ整備に関する要対策箇所について、対策率を上昇させる。

$$\frac{\text{歩道消雪パイプ整備対策実施箇所数}}{\text{歩道消雪パイプ整備に関する要対策箇所数}} \times 100$$

○要対策箇所の対象は、歩道消雪施設整備（歩道消雪パイプ）

目標値

○目標値については、平成30年度当初に設定された現況値（%）に対して、令和4年度末時点の要対策箇所実施率（見込値）を指標としている。なお、値は**累積値**であるとともに、**要対策箇所数も増加していることを考慮した値**となっている。

当初現況値

最終目標値

81%

⇒

100%

	H30年度当初 (現況値)	R4年度末 (目標値)
対策実施箇所数（R4年度は目標値） / 要対策箇所数	33/41	54/54
実施率（R4年度は見込）	81%	100%

2) 事業の実施状況

事業一覧

番号	事業名	事業内容
A01-	通学路安全プログラムに基づく事業	
001	(1) 東幹線13号線 (十日町小学校)	踏切整備 L=0.02 km
002	(1) 中之島706号線、中之島736号線、 中之島745号線 (中之島中央小学校)	歩道整備 L=2.7 km
003	(他) 市道656号線、東幹線47号線、東幹線67号線 (富曾亀・四郎丸・神田小学校)	歩道整備 L=1.41 km
004	(他) 黒条134号線 (黒条小学校)	路肩整備 L=0.1 km
005	(他) 宮内21号線 (宮内小学校)	歩道整備 L=0.4 km
006	(1) 東幹線36号線 (柿小学校)	歩道整備 L=0.2 km
007	(他) 西幹線29号線、西幹線20号線、西幹線31号線、 (日越・大島小学校)	歩道整備 L=3.2 km
008	(1) 東幹線39号線 (栖吉小学校)	歩道改良 L=0.07 km ※歩道拡幅
009	(他) 西幹線29号線、宮内3号線、富曾亀79号線、 富曾亀80号線、県道長岡・七日市線、 西幹線42号線、二和62号線、深才28号線 (通学路対策事業)	交通安全施設整備 L=3.1 km ※グリーンベルト
010	(他) 深才261号線 (深沢小学校)	路肩整備 L=0.8 km ※側溝蓋掛け
011	(1) 東幹線39号線 (栖吉小学校)	路肩整備 L=0.1 km ※側溝蓋掛け
012	(2) 東幹線8号線、宮内314号線 (上組小学校)	路肩整備 L=0.4 km ※側溝蓋掛け
013	(1) 東幹線36号線、市道629号線 (柿・豊田小学校)	歩道消雪施設整備 L=0.4 km ※歩道消雪パイプ
014	(1) 東幹線63号線、東幹線65号線 (神田・中島小学校)	歩道消雪施設整備 L=0.3 km ※歩道消雪パイプ

基幹事業

2) 事業の実施状況

事業一覧

番号	事業名	事業内容
A01-	通学路安全プログラムに基づく事業	
015	(他) 中之島879号線、中之島706号線 (信条小学校)	路肩整備 L=1.38 km ※路肩拡幅
016	(1) 三島248号線 (脇野町小学校)	路肩整備 L=0.65 km ※路肩拡幅
017	(1) 東幹線56号線 (新組小学校)	路肩整備 L=0.1 km ※路肩拡幅
018	(2) 西幹線52号線 (宮本小学校)	歩道整備 L=0.04 km
019	(1) 大島77号線 (大島小学校)	歩道整備 L=0.2 km ※側溝蓋掛け
020	(1) 新組161号線 (新組小学校)	歩道整備 L=0.5 km ※側溝蓋掛け
021	(他) 越路333号線 (通学路対策事業)	交通安全施設整備 L=0.7 km ※防護柵
022	(他) 日越32号線 (大島小学校)	歩道整備 L=0.3 km ※側溝蓋掛け
023	(他) 深才261号線 (深沢小学校)	歩道整備 L=0.3 km ※側溝蓋掛け
024	(1) 宮内520号線、福戸69号線、 県道滝谷三和線 (通学路対策事業)	路肩整備 L=3.0 km ※グリーンベルト
025	(1) 東幹線17号線 (岡南小学校)	歩道整備 L=0.28 km
026	(他) 長岡街道踏切 (越路小学校)	通学路安全対策 L=0.65 km ※踏切対策 (迂回路整備)
027	(2) 越路187号線 (越路小学校)	路肩整備 L=0.17 km ※路肩拡幅

基幹事業

1) 事業概要

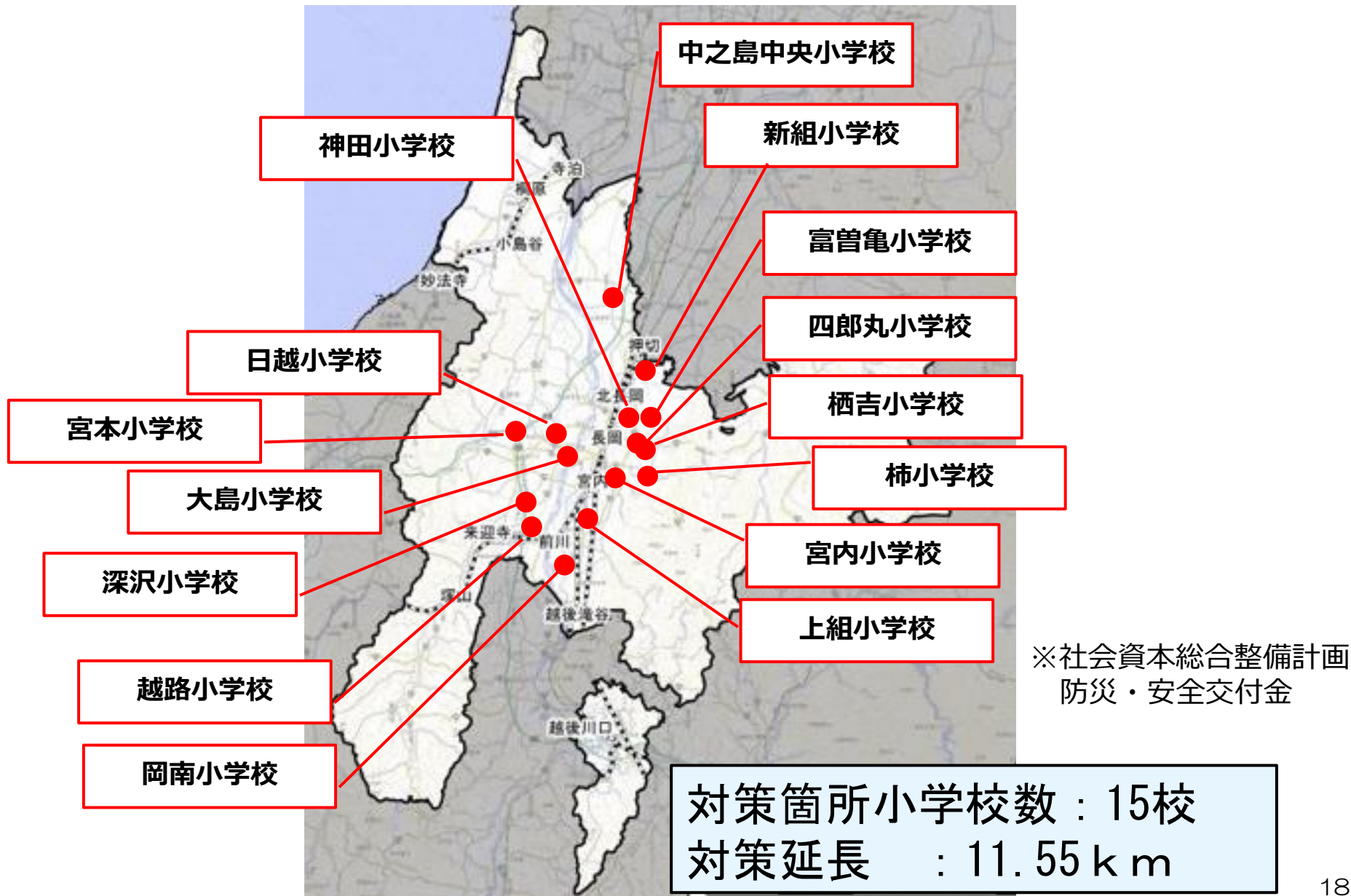
■ 社交金計画における事業の対策内容及び対象小学校

	対策内容	事業箇所（小学校名）	合計	事業規模	対応する指標
歩道	歩道 (歩道整備)	越路小学校、神田小学校、四郎丸小学校、 富曾亀小学校、柿小学校、栖吉小学校、 宮内小学校、岡南小学校、大島小学校、 日越小学校、宮本小学校、中之島中央小学校、 新組小学校、上組小学校、深沢小学校	15校	11.55 km	指標 1
	歩道 (路肩整備)	黒条小学校、新組小学校、中之島中央小学校、 信条小学校、越路小学校、脇野町小学校	6校	3.10 km	
	歩道 (グリーンベルト整備)	上組小学校、富曾亀小学校、前川小学校、 日越小学校、関原小学校、福戸小学校、 大積小学校、希望が丘小学校	8校	6.10 km	
踏切	踏切 (踏切整備)	十日町小学校	1校	0.02 km	指標 2
消パイ	歩道消雪 施設整備	柿小学校、豊田小学校、神田小学校、 中島小学校	4校	0.70 km	指標 3
	合計		26校	21.47 km	

※社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

※学校の合計数は重複を含まない

3) 事業の実施事例 歩道事業（歩道整備）について



整備箇所：A01-002 中之島706号線ほか（中之島中央小学校）

整備事例



■ 対策前の状況

- ・ 歩道と車道の区別が無い
ため児童が車と接触する恐れ
があり危険である。

■ 対策事業の内容

- ・ 歩道整備（L=2, 200m）

■ 工期：H25～R08

- ・ 歩道を整備し、歩行者空間を
確保
- ・ 通学児童が歩行する際の、
安全性が向上

整備箇所：A01-003 656号線ほか（富曽亀、四郎丸、神田小学校）

整備事例（四郎丸小学校）

【対策前】



■ 対策前の状況

- ・ 歩道と車道の区別が無い
ため児童が車と接触する
恐れがあり危険である。

■ 対策事業の内容

- ・ 歩道整備（L=460m）

■ 工期：H26～R06

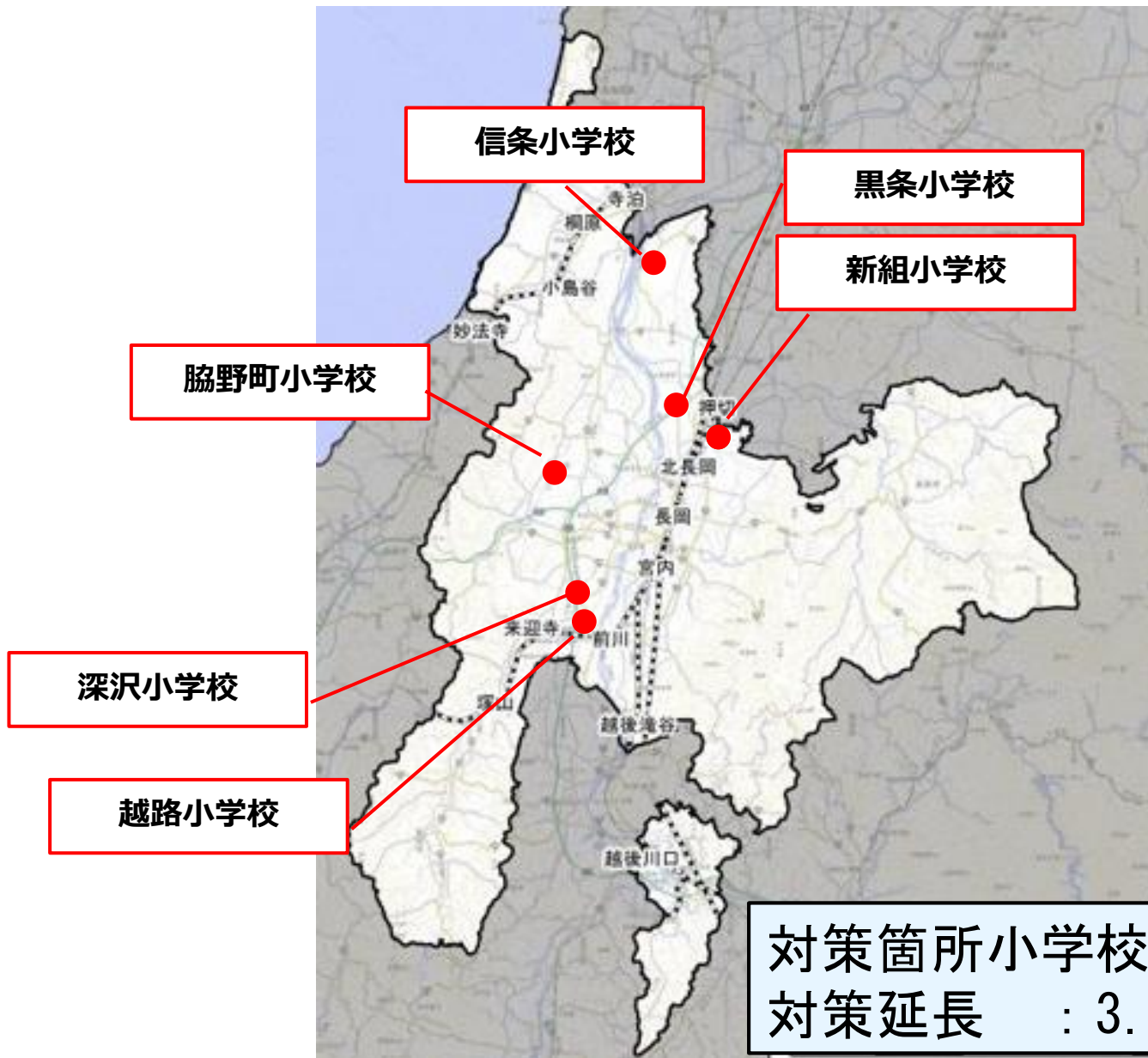
※令和4年度は、歩道新設工事及び
現地測量を実施

【対策後】



- ・ 歩道橋新設
- ・ 歩道新設
- ・ 通学児童の安全性が向上

歩道事業（路肩整備）について



※社会資本総合整備計画
防災・安全交付金

対策箇所小学校数：6校
対策延長：3.1 km

整備箇所：A01-015 中之島879号線ほか（信条小学校）

整備事例



■ 対策前の状況

- ・ 歩道と車道の区分が無い
ため児童が車と接触する恐れ
があり危険である。

■ 対策事業の内容

- ・ 路肩拡幅（L=480m）

■ 工期：H30～R05

- ・ 路肩を広げ、歩行者空間を確保
- ・ 通学児童が、歩行する際の安全性が向上

整備箇所：A01-010 深才261号線（深沢小学校）

整備事例



■対策前の状況

- ・ 歩道傍に側溝があり児童が転落する恐れがあり危険である。

■対策事業の内容

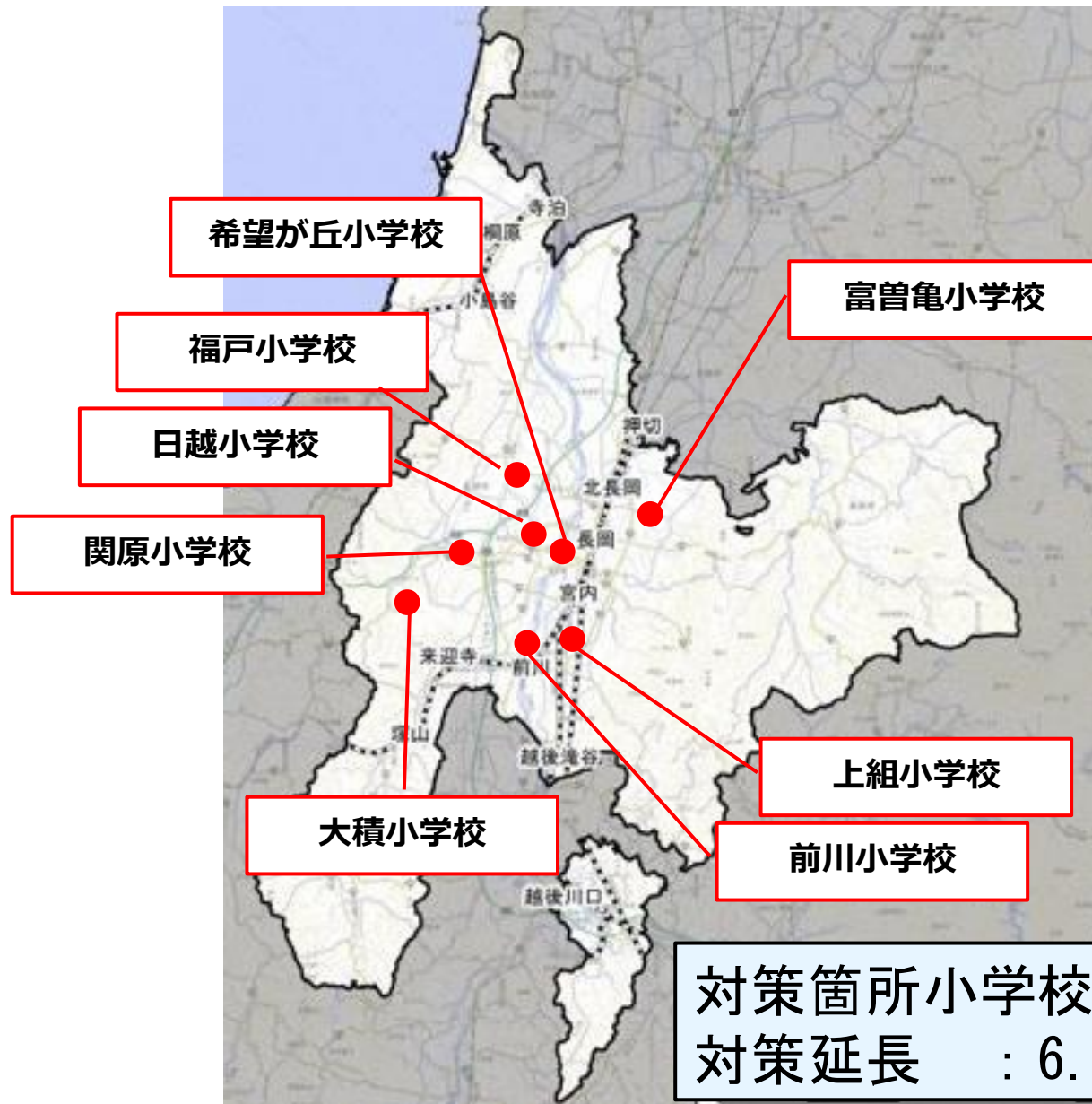
- ・ 側溝改良工事（L=50m）

■工期：H30

- ・ 転落の危険がなくなり安全性が向上
- ・ 歩けるスペースが広がり児童が車道側にはみ出す可能性が減り安全性が向上

路肩整備（側溝蓋掛け）の事例

歩道事業（グリーンベルト整備）について



※社会資本総合整備計画
防災・安全交付金

整備箇所：A01-009 西幹線29号線ほか

整備事例



■ 対策前の状況

- ・ 歩道と車道の区別が無い
ため児童が車と接触する
恐れがあり危険である。

■ 対策事業の内容

- ・ 交通安全施設整備（グリーンベルト）
(L=3, 055m)

■ 工期：H29～R31

- ・ グリーンベルトが設置されたことで、歩車道境界の区別が明確になり安全性が向上

踏切事業（踏切整備）について



※社会資本総合整備計画
防災・安全交付金

対策箇所小学校数：1校
対策延長：約0.02 km

整備箇所：A01-001 東幹線13号線（十日町小学校）

整備事例 西側

【対策前】



歩道が無い

西側

【対策後】



歩道 3m確保

■対策前の状況

- ・ 歩道と車道の区分がなく、歩行者が車と接触するおそれがあり危険である。

■対策事業の内容

- ・ 踏切拡幅延長 (L=20m)、踏切幅員 (W=12.7m)
- ・ 歩道幅員 (W=3.0m)、車道幅員 (W=6.0m)

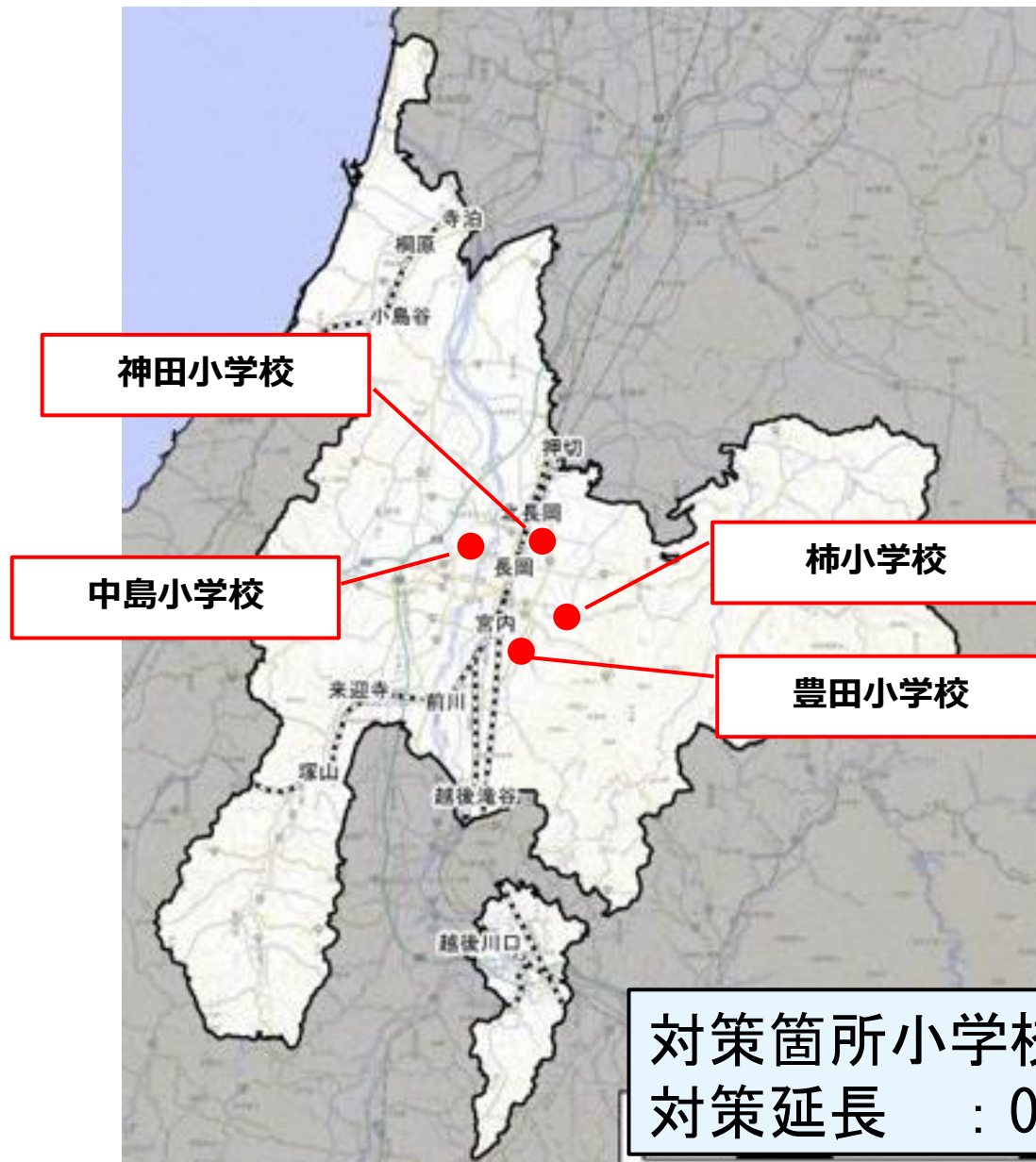
■工期：H28～R04

※R3年度までに踏切拡幅工事を実施

※R4年度は、取付道路拡幅工事、交通信号機移設工事を実施。

- ・ 歩道と車道を明確に分離
- ・ 3.0mの歩行空間を確保
- ・ 通学利用者らの安全性が向上

歩道消雪パイプ事業について



※社会資本総合整備計画
防災・安全交付金

対策箇所小学校数：4校
対策延長：0.7 km

整備箇所：A01-013 東幹線36号線ほか（柿、豊田小学校）

整備事例（豊田小学校）



【対策前】



【対策後】

■対策前の状況

- ・歩道に雪が残り、児童が通学しにくく、凍結などにより転倒等による事故の恐れがあり危険である。

■対策事業の内容

- ・さく井工 $\phi 250-65m$
- ・取水工 $\phi 100-11kw$
- ・散水管工 $\phi 65 L=261.2m$

■工期：H30

- ・歩道に通学用の消雪パイプを新設
- ・冬期間児童が多く集まる場所に設置しており、除雪に比べ幅員が確保できることから、安全・安心な登校が可能

年度別事業実施状況（まとめ）

事業	小学校	要対策箇所	年度事業費(百万円)					事業費 (百万円)
			H30	H31	R2	R3	R4	
歩道整備	15校	24箇所	316.4	218.3	371	188.8	157.4	1,252
路肩整備	6校	8箇所	48.1	21	62.4	42.8	32.3	206.6
グリーン ベルト整備	8校	12箇所	7.2	3.6	0	7.2	4.7	22.7
踏切拡幅 整備	1校	1箇所	3.4	55.6	43.5	1.8	2.1	106.4
歩道消雪 パイプ整備	3校	3箇所	47.6	0	0	0	0	47.6
合計	26校	48箇所	422.8	298.6	476.9	240.6	196.5	1,635.4

※平成30年度～令和4年度 社会資本整備総合交付金の通学路安全対策（総事業費まとめ）
（R5.02）

※学校の合計数は重複を含まない

質 疑 ①

2. 評価結果の内容について (審議事項)

(1) 成果の達成度

数値指標の結果

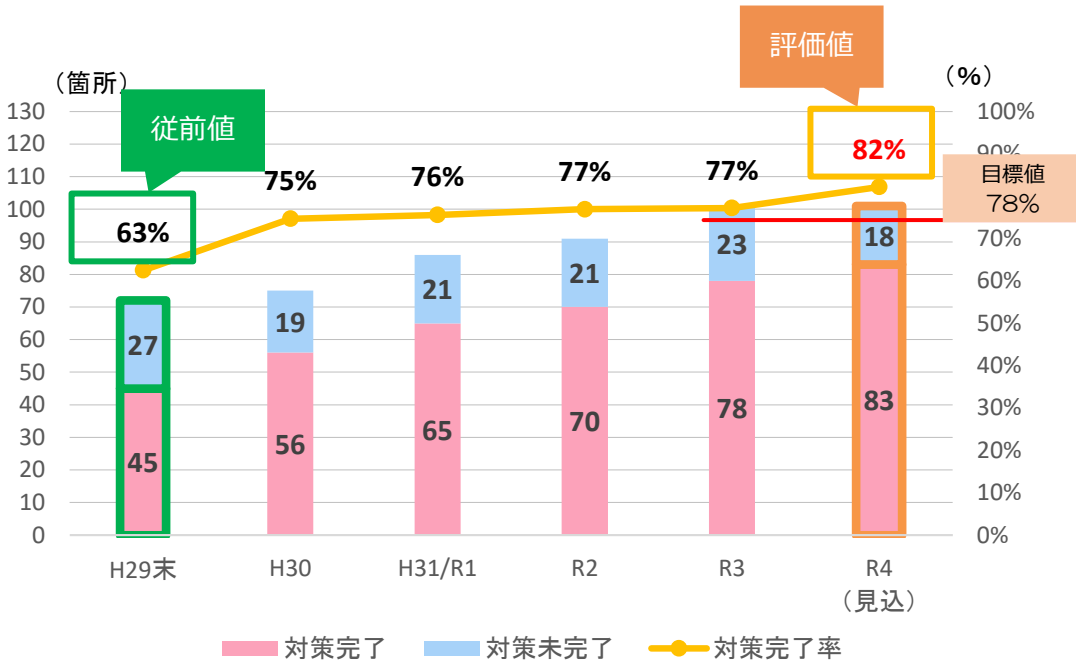
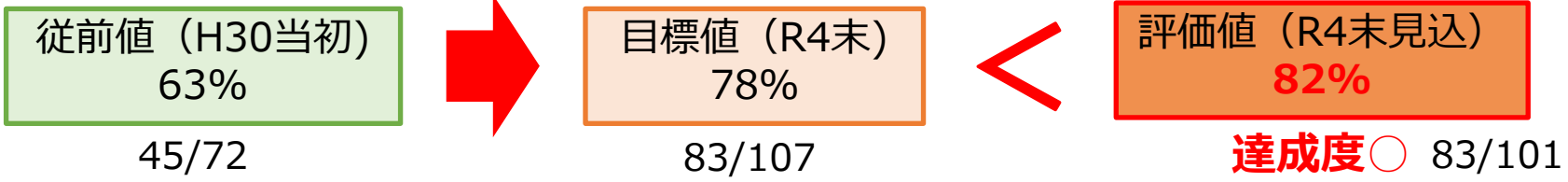
目標を定量化する指標								
指標		従前値	基準年度	目標値	目標年度	評価値 (見込)	評価年度	達成度
指標 1	歩道空間確保に関する要対策箇所の対策率を上昇させる	63%	H30当初	78%	R4末	82%	R4末	○
指標 2	踏切整備に関する要対策箇所の対策率を上昇させる	75%	H30当初	100%	R4末	80%	R4末	△
指標 3	歩道消雪パイプ整備に関する要対策箇所の対策率を上昇させる	81%	H30当初	100%	R4末	98%	R4末	○

目標達成度の凡例 : ○ 評価値が目標値を上回った場合
△ 目標達成はしていないものの、従前値よりは改善していると認められる場合
× 従前値に達成していない場合

指標 1 :歩道空間確保に関する要対策箇所の対策率

意見聴取事項

歩道空間確保における、要対策箇所の対策率の推移



考察

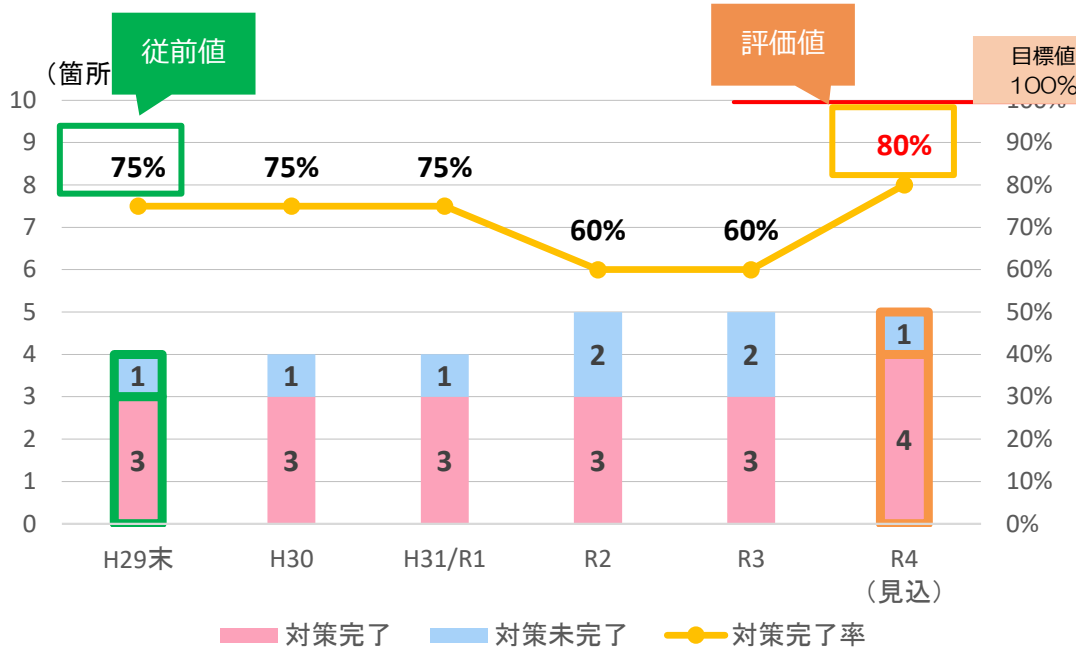
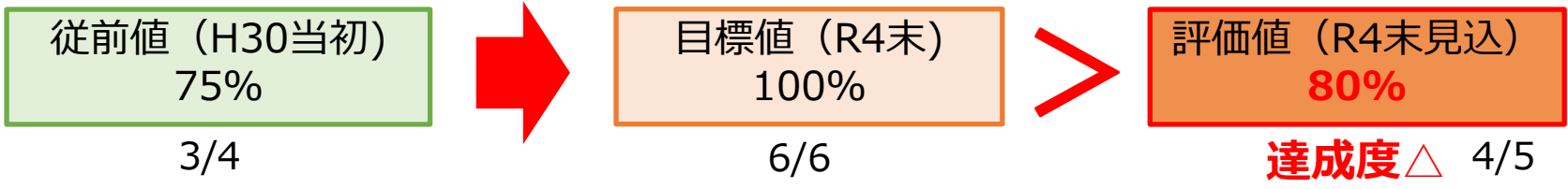
○従前値63%に対して、目標値を78%としていたが、令和4年度末時点見込で82%となり目標を達成できた。



指標 2:踏切整備に関する要対策箇所の対策率

意見聴取事項

踏切整備に関する、要対策箇所の対策率の推移



考察

○H30年度の設定値75%に対して、目標値を100%としていたが、令和4年度末時点見込で80%となり目標は達成できなかったが、従前値より改善した。

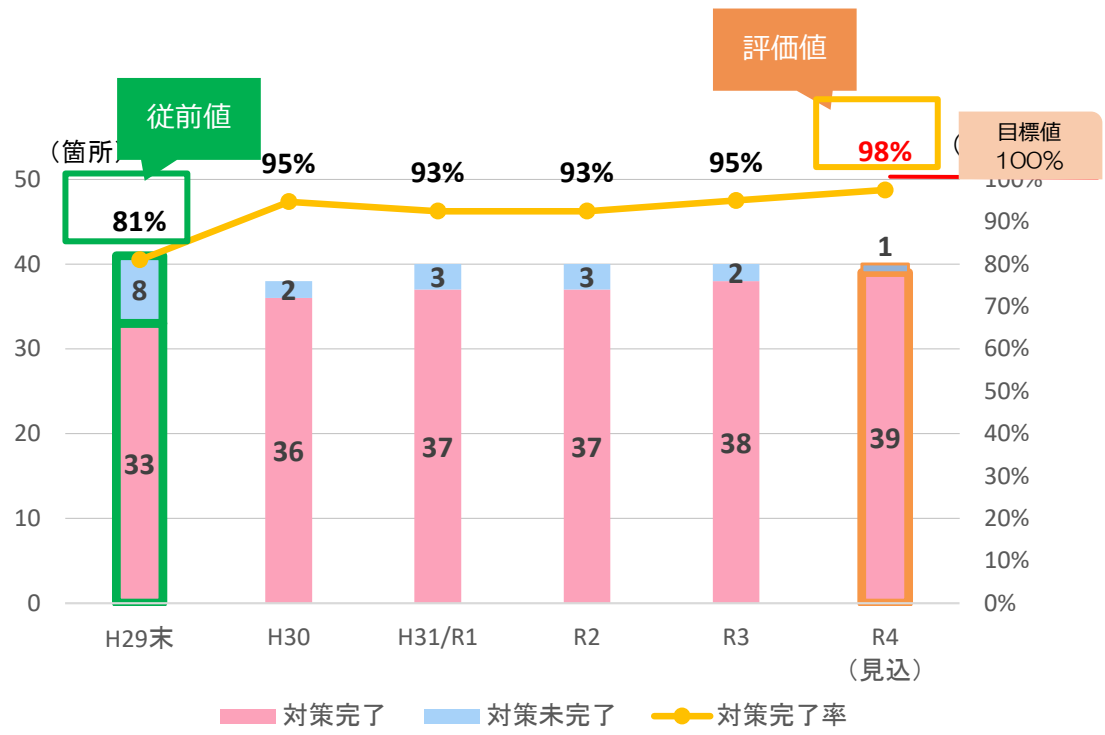


指標 3:歩道消雪パイプ整備に関する

要対策箇所の対策率 意見聴取事項

歩道消雪パイプ整備に関する、要対策箇所の対策率の推移

従前値 (H30当初) 81% 33/41	➡	目標値 (R4末) 100% 54/54	=	評価値 (R4末見込) 98% 達成度△ 39/40
-----------------------------	---	----------------------------	---	----------------------------------



考察

○H30年度の設定値81%に対して、目標値を100%としていたが、令和4年度末時点見込で98%となり目標は達成できなかったが、従前値より改善した。



数値指標の結果

意見聴取事項

目標を定量化する指標								
指標		従前値	基準年度	目標値	目標年度	評価値 (見込)		達成度
						評価値	評価年度	
指標 1	歩道空間確保に関する要対策箇所の対策率を上昇させる	63%	H30当初	78%	R4末	82%	R4末	○
指標 2	踏切整備に関する要対策箇所の対策率を上昇させる	75%	H30当初	100%	R4末	80%	R4末	△
指標 3	歩道消雪パイプ整備に関する要対策箇所の対策率を上昇させる	81%	H30当初	100%	R4末	98%	R4末	○

フォローアップ計画			
指標		予定時期	計測方法
指標 1	歩道空間確保に関する要対策箇所の対策率を上昇させる	R5.6	R5.3までのデータにより確定値を求める
指標 2	踏切整備に関する要対策箇所の対策率を上昇させる		
指標 3	歩道消雪パイプ整備に関する要対策箇所の対策率を上昇させる		

2. 評価結果の内容について (審議事項)

(2) 事業の効果発現要因の整理

(2) 事業の効果発現要因の整理

意見聴取事項

※供用開始後、関連する指標の効果発現に結び付くもの

番号	要素となる事業名	指標1 (歩道整備)	指標2 (踏切整備)	指標3 (消パイ整備)
A01-001	(1) 東幹線13号線(十日町小学校) 踏切整備		◎	
A01-002	(1) 中之島706号線ほか(中之島中央小学校) 歩道整備	◎		
A01-003	(他) 656号線ほか(富曾亀、四郎丸、神田小学校) 歩道整備	◎		
A01-004	(他) 黒条134号線(黒条小学校) 路肩整備(路肩拡幅)	◎		
A01-005	(他) 宮内21号線(宮内小学校) 歩道整備	◎		
A01-006	(1) 東幹線36号線(柿小学校) 歩道整備	◎		
A01-007	(他) 西幹線29号線ほか(日越、大島小学校) 歩道整備	◎		
A01-008	(1) 東幹線39号線(栖吉小学校) 歩道改良(歩道拡幅)	◎		
A01-009	(他) 西幹線29号線ほか(通学路対策事業) 交通安全施設整備(グリーンベルト)	◎		
A01-010	(他) 深才261号線(深沢小学校) 路肩整備(側溝蓋掛け)	◎		
A01-011	(1) 東幹線39号線(栖吉小学校) 路肩整備(側溝蓋掛け)	◎		
A01-012	(2) 東幹線8号線ほか(上組小学校) 路肩整備(側溝蓋掛け)	◎		
A01-013	(1) 東幹線36号線ほか(柿、豊田小学校) 歩道消雪施設整備(歩道消雪パイプ)			◎
A01-014	(1) 東幹線63号線ほか(神田、中島小学校) 歩道消雪施設整備(歩道消雪パイプ)			◎

(2) 事業の効果発現要因の整理

意見聴取事項

※供用開始後、関連する指標の効果発現に結び付くもの

番号	要素となる事業名	指標1 (歩道整備)	指標2 (踏切整備)	指標3 (消パイ整備)
A01-015	(他) 中之島879号線ほか(信条小学校) 路肩整備(路肩拡幅)	◎		
A01-016	(1) 三島248号線(脇野町小学校) 路肩整備(路肩拡幅)	◎		
A01-017	(1) 東幹線56号線(新組小学校) 路肩整備(路肩拡幅)	◎		
A01-018	(2) 西幹線52号線(宮本小学校) 歩道整備	◎		
A01-019	(1) 大島77号線(大島小学校) 歩道整備(側溝蓋掛け)	◎		
A01-020	(1) 新組161号線ほか(新組小学校) 歩道整備(側溝蓋掛け)	◎		
A01-021	(他) 越路333号線(通学路対策事業) 交通安全施設整備(防護柵)	◎		
A01-022	(他) 日越32号線ほか(大島小学校) 歩道整備(側溝蓋掛け)	◎		
A01-023	(他) 深才261号線ほか(深沢小学校) 歩道整備(側溝蓋掛け)	◎		
A01-024	(1) 宮内520号線ほか(通学路対策事業) 路肩整備(グリーンベルト)	◎		
A01-025	(1) 東幹線17号線ほか(岡南小学校) 歩道整備	◎		
A01-026	(他) 越路435号線ほか(越路小学校) 通学路安全対策(踏切迂回路整備)	◎	○	
A01-027	(2) 越路187号線ほか(越路小学校) 歩道整備(路肩拡幅)	◎		

凡例：◎直接的に貢献 ○間接的に貢献

審 議
(意見聴取①)

3. 今後の通学路の安全対策について (審議事項)

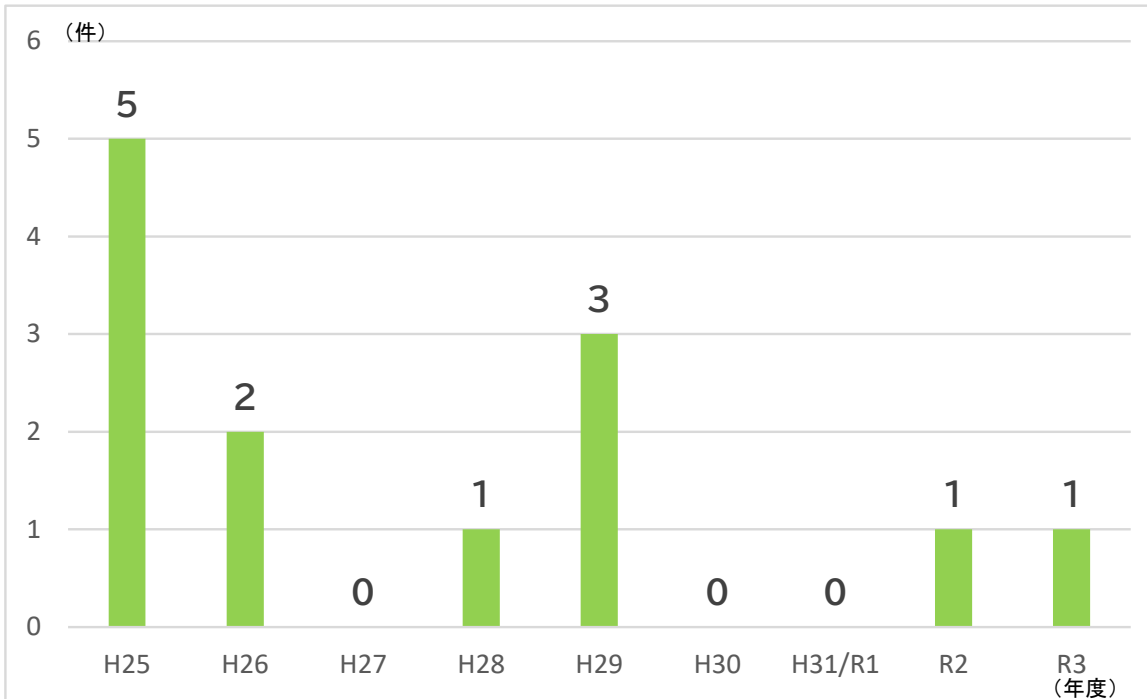
今後の通学路の安全対策について

事業前の課題	達成されたこと（効果） 残された課題		効果持続方策 改善方策	想定される事業
通学路に危険箇所があり、交通事故の懸念	達成されたこと、その効果	<ul style="list-style-type: none"> 歩道整備については目標達成見込み。 踏切整備と歩道消雪パイプ整備については未達成ではあったが、事業が着実に進んでいる。 <p>⇒通学路の安全性が向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> 通学路交通安全プログラムの適正な運営 	<ul style="list-style-type: none"> ○本整備計画で着手したが、未完了である事業 <ul style="list-style-type: none"> 歩道整備 路肩整備 グリーンベルト整備 踏切拡幅整備 歩道消雪パイプ整備 ○今後通学路交通安全プログラムで対策が必要と判断される事業 ○ソフト対策との連携
	残された課題、新たな課題	<ul style="list-style-type: none"> まだ整備が終わっていない危険箇所がある。 新たな危険箇所への対策が必要である。 <p>⇒継続して対策を実施</p>		

今後の通学路の安全対策について

【交通事故発生件数】

- 市内で年間に発生する登下校時の交通事故件数はH30年度以降0~1件で推移。
- 今後も交通安全プログラムを通じて安全対策をしていくことで事故発生の件数を限りなく0に近づけ、児童が安心して通学できる環境の構築に努めていきます。



出典：長岡市管内警察署

審 議
(意見聴取②)

4. 今後のスケジュールについて

今後のスケジュール

2月24日

事業評価監視委員会

本日の審議を踏まえ事後評価
原案を長岡市にて整理

6月上旬

評価指標のフォローアップを実施

7月頃

事後評価結果を公表

市ホームページに掲載

調査依頼時

事後評価結果を内閣府へ報告

国が事後評価結果を確認

ご審議ありがとうございました。